VIE-X08S/VIE-X088

7型/8型ワイド VGA LED液晶
HDDナビゲーション

取付説明書

目次

安全にお使いいただくために 2

1. はじめに 4

2. GPS アンテナを取り付ける 7

3. フィルムアンテナを取り付ける 8

4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける 14

5. 接続する 14

6. ナビゲーション本体を取り付ける 24

7. 確認する 26

8. B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する 26

9. 接続状態を知る 27

10.B-CAS（ビーキャス）カードをテストする 28

販売店様へ

製品取り付け終了後に、必ずこの取付説明書をお客様へお渡しください。

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用の前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
  内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。


禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。


禁止


強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。事故・火災の原因になります。


強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。


禁止

前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故・ケガの原因になります。


禁止

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけないでください。事故・火災の原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。


禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り付けないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。


禁止

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。



⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。


禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。
火災・故障の原因になります。



付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。


禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けないでください。火災・故障の原因になります。


禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



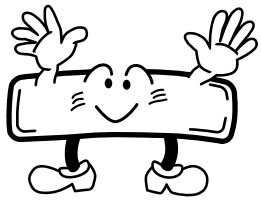
⚠ 注意

- ハードディスク(HDD)は強磁界に弱い為、ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。HDD内のデータが消去される場合があります。
- 本機はインダッシュに取り付けてください。

1. はじめに

- 本説明書はVIE-X08Sのイラスト/画面を例に説明しています。
- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影·印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。



- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 取り付けは、車種·グレード·年式によって異なります。取り付けに関わる情報をお買い上げの店より入手してください。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」をお買い上げの店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、取扱説明書も必ずお読みください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- RCAコード、ピンコード
  家庭用機器の信号の受け渡しに利用される、RCA社考案のコネクター付きコードをいいます。
  カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。
  白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 組み合わせる製品によって使用できない場合があります。組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 取り付け場所について
  ディスクやSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ取り付け場所を設定してください。
- 水平に対して40度以内に取り付けてください。(24ページ参照)
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

Memo

- 本機には保護フィルムが貼られています。画面を保護するため、取り付け作業はフィルムを貼ったまま行ってください。本機取り付け終了後、電源を入れてディスプレイを開いてからフィルムを外してください。

1 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

ナビゲーション本体取付用部品

バインドネジ(M5×8)



×8

スポンジ※



※必要に応じてご使用ください。

GPSアンテナ取付用部品

GPSアンテナ
(3.5m)



アンテナ取り付け
プレート



コードクランプ

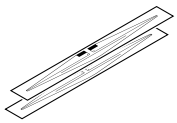


×3

フィルムアンテナ取付用部品

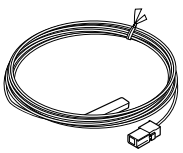
ループフィルムアンテナー式

ループフィルムアンテナ



2枚1組

アンテナコード(ループフィルムアンテナ用 4m)



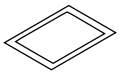
×2

クランプ



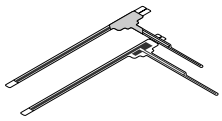
×6

クリーナー



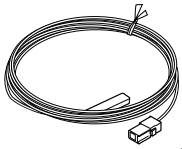
モノポールフィルムアンテナー式

モノポールフィルムアンテナ[A]/[B]※



2枚1組

アンテナコード(モノポールフィルム用[A]/[B]※4m)



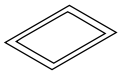
×2

クランプ



×6

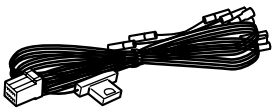
クリーナー



※ モノポールフィルムアンテナは、アンテナコードのアンプ裏面に[A],[B]と印されているアンテナコードを使用してください。
アンテナコード[A],[B]を印す場所は、「5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける」12ページを参照してください。

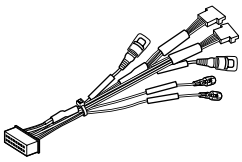
コード類・その他

電源コード

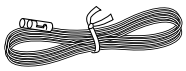


– – VIE-X08Sのみ – – –

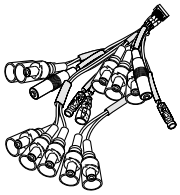
外部出力/カメラコード



スピードセンサー延長コード



プリアウト/外部入力コード

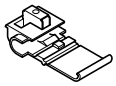


圧着コネクター(電源コード添付)

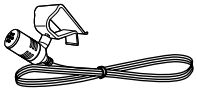


×2

圧着コネクター(外部出力/カメラコード添付)



ハンズフリー電話用マイク(4m)



B-CASカード



VIE-X088のお客様へ

VIE-X088の取り付けには、別売の車種専用取付キットが必要です。

- 別売の車種専用取付キットを使用した取り付けについての詳細は、車種専用取付キットに付属の取付説明書を参照してください。
- VIE-X088の電源コードは、車種専用取付キットに同梱されています。
- 別売の車種専用取付キットについては、アルパインのホームページを参照してください。

2 **車を安全で平坦な場所に停める。**
パーキングブレーキをかけ、イグニッションキー(エンジンキー)を抜く。

3 **バッテリーのマイナス端子を外す。**

Memo

- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

4 **灰皿、小物入れなどを外し、パネル(インパネ)を外す。**

5 **車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。**

6 **オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。**
(ブラケットは、「6.ナビゲーション本体を取り付ける」(24ページ)で利用します。)

Memo

- 本機の付けかえ等でGPSアンテナを取り外すときには、アンテナ取り付けプレートを忘れずにいっしょに取り外すようにしてください。
  また、取り外しの際には変形等が考えられますので、作業には十分ご注意ください。

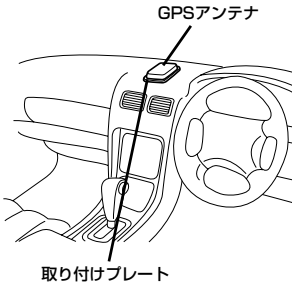
2. GPS アンテナを取り付ける

Memo

- アンテナの磁石は非常に強力です。車体に傷が付かないよう慎重に作業してください。また、磁気に弱いもの（磁気カード、時計など）には近づけないでください。
- アンテナのコードは非常にデリケートな部分です。必要以上に力を加えたり、曲げたりしないでください。
- アンテナには、塗装しないでください。受信性能が落ちる場合があります。
- アンテナは車外に取り付けないでください。
- なるべく水平になるように取り付けてください。傾いた取り付けは、感度低下の原因になります。
- アンテナ取り付けの際は、TVアンテナケーブルとGPSアンテナが近づくと（15cm以内）、GPSが受信出来ない場合があります。
- 別売のETCユニットやビーコンユニット等他機器に近づけて取り付けると、お互いに悪影響を与え合う可能性があります。取り付け場所には、十分ご注意の上、他機器とは十分な間隔を確保してください。なお、ナビゲーション本体とも50cm以上離して取り付けてください。

1 アンテナをダッシュボードに取り付ける。

- 貼り付け面の汚れを落としてから、取り付けプレートを貼り付ける。
- 取り付けプレートにアンテナを貼り付ける。
- なるべくガラス面に近い位置に取り付ける。



2 コードを固定する。

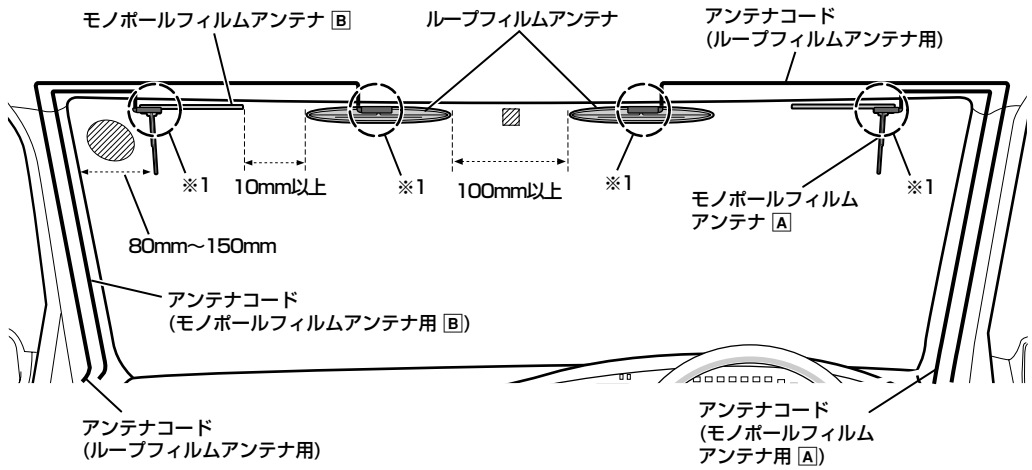
コードクランプでコードを固定する。

3. フィルムアンテナを取り付ける

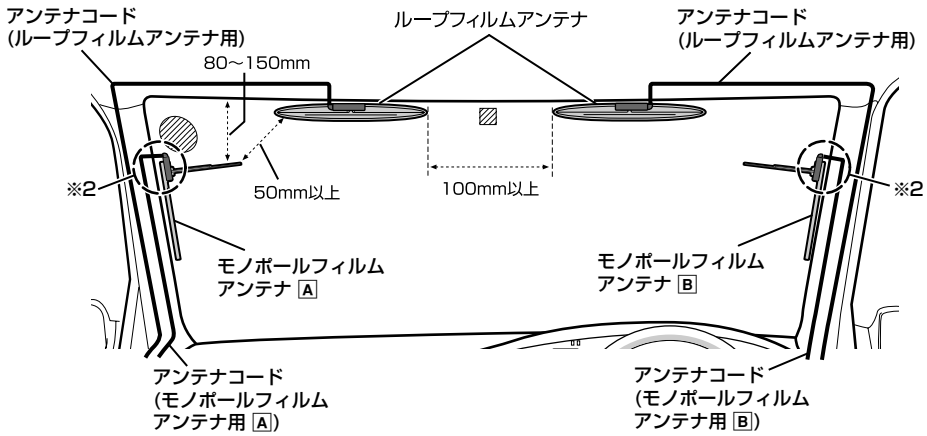
● 取付完成概略図

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナの給電端子は、必ず下記の様に貼り付けてください。

＜車内からみた配線図例＞



＜小型車など上部にフィルムアンテナが4枚貼れない場合の取り付け例＞



● 本書でのモノポールフィルムアンテナの取り付けは、上部4枚貼り付け可能な車種をメインに説明しています。
取り付けの際は、モノポールフィルムアンテナに印されている**A**、**B**の貼り付け左右位置を上図イラストにて確認の上、取り付けを行ってください。

Memo

● ※1
モノポールフィルムアンテナおよびループフィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ上端(セラミックライン)から100mm以内に必ず貼り付けてください。
※2
モノポールフィルムアンテナの給電端子は、フロントウィンドウ左右端(セラミックライン)から25mm以内に必ず貼り付けてください。

● 図の ////// 部分の定期点検ステッカー・検査標章部にはフィルムを貼り付けないでください。

● モノポールフィルムアンテナ**A**は必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されている**A**と、モノポールフィルムアンテナ**B**は必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されている**B**と取り付けてください。**A**、**B**を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

● アンテナコードの引き回し方向は、上図を参考にしてください。

⚠ 警告

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル·変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けないでください。事故·ケガの原因になります。
- コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル·変速レバー·ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故·故障の原因になります。

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- 本フィルムアンテナは、フロントウィンドウ専用です。フロントウィンドウ以外の場所には貼り付けないでください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けることはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 必ずフロントウィンドウの指定された位置·寸法内に貼り付けてください。
- 本フィルムアンテナは、セラミックラインの上に貼り付けても問題はありません。できるだけ車体に近い場所に貼り付けてください。
- フロントウィンドウにTVアンテナ·FM多重用フィルムアンテナ(別売)などをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めして、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプの保護シートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウィンドウを暖めてから作業を行ってください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。

1 フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。

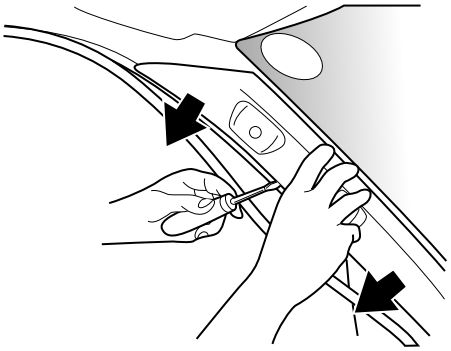
1) フィルムアンテナをセロハンテープで仮止めする。
   - 「アンプをフィルムアンテナに取り付ける」(12ページ)を参考に、アンプがフロントウィンドウ内におさまる位置にフィルムアンテナを仮止めする。このときアンプは、できるだけ車体に近い位置に貼り付けてください。
   - フィルムアンテナ貼り付け位置、距離については、「取付完成概略図」(8ページ)を参考に貼り付けてください。
2) フィルムアンテナの貼り付け位置をセロハンテープ等でマーキングする。

2 アンテナコードを配線するために、内装部品(内張りなど)を取り外す。

※ ここではまだ配線しないでください。

1) フロントピラーを取り外す。

またフロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外す。



⚠注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

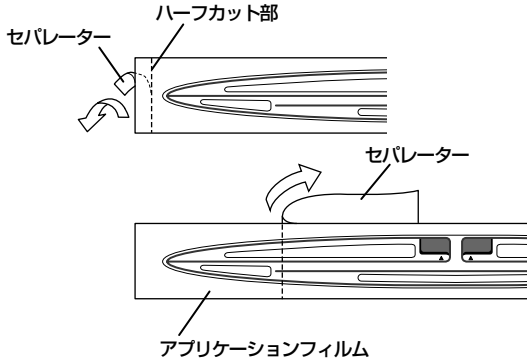
3 フィルムアンテナを貼り付ける。

フィルムアンテナの取り付けは、上部4枚貼り付け可能な車種の左側をメインに説明しています。

1) 仮止めしたフィルムアンテナを取り外す。
2) フロントウィンドウの汚れ(ごみ・油など)やくもり止めを付属のクリーナーを使ってきれいに拭きとる。油膜や糸くずが残っていると気泡発生の原因になります。
   - 水または界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
   - フロントウィンドウは、完全に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
   - 冬場での貼り付けの場合は、霜取りやウィンドウ面を暖めてから作業を行ってください。その際は、フィルムアンテナ自体も暖めてください。
3) アプリケーションフィルムの端をフロントウィンドウ貼り付け位置に合わせ、端から貼り付ける。
   - 気泡が入ったり、しわが寄ったりしないように、端から貼り付けてください。

   ※一度アンテナがフロントウィンドウに貼り付くと貼りなおしができないので、注意してください。

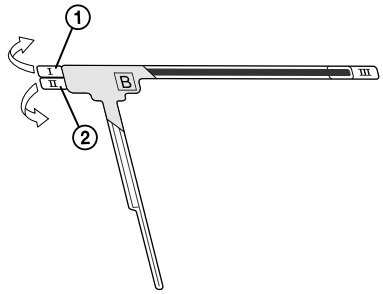
＜ループフィルムアンテナ＞



① 貼付ける位置に対して、ハーフカット部のセパレーター(固い透明フィルム)をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。

② 残りのセパレーターをゆっくりはがし、アプリケーションフィルム(糊付フィルム)をフロントウィンドウに貼り付ける。

＜モノポールフィルムアンテナ＞



① アンテナのアプリケーションフィルム（糊付きフィルム）から、ゆっくりとタグ「I」部のセパレーター（透明フィルム）をはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。
② 続けて、タグ「II」部をゆっくりとはがし、フロントウィンドウに貼り付ける。

- アプリケーションフィルムにアンテナが残るように、透明のセパレーターをはがしてください。セパレーターをはがした状態では、車内から見たアンテナのパターンは銀色、糊面のパターンは黒色になります。

● セパレーター側にアンテナが残った場合には

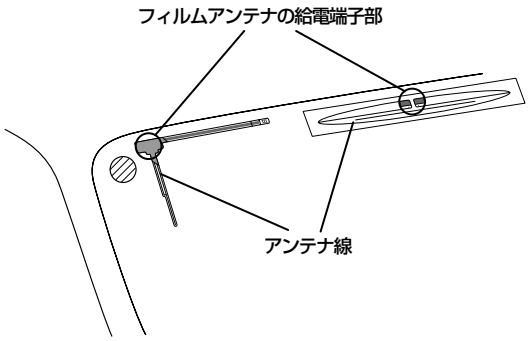
- アプリケーションフィルムを元に戻してアンテナ上を強くこすり、再度セパレーターをはがします。アプリケーションフィルムにパターンが移っていることを確認しながら、ゆっくりはがしてください。
- 最初はアプリケーションフィルムにパターンがあっても、途中からセパレーターに残る場合があります。その場合もアプリケーションフィルムを元に戻してアンテナ上を強くこすり、再度セパレーターをはがしてください。

⚠注意

- セパレーターを急にはがさないでください。アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがすときアプリケーションフィルムを強く曲げると、アンテナが断線する恐れがあります。
- セパレーターをはがした後は、アンテナに触れたり物を当てたりしないでください。皮脂や埃がつくとアンテナが貼りつかなくなります。

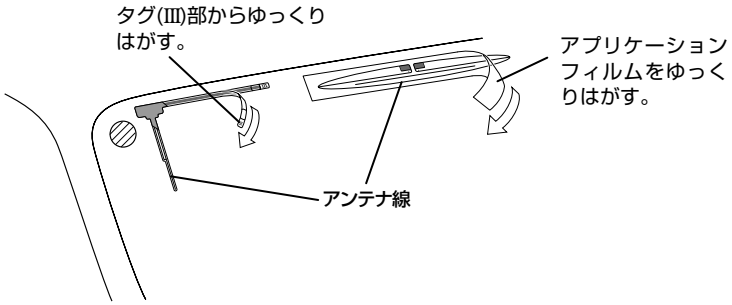
4) アンテナをしっかりガラスに密着させる。

- フィルムの上から、アンテナ線を中心に指で強く押す（困難な場合は、樹脂ヘラ使用）。アンテナ線の無い部分は、あとではがしますので、強く押す必要はありません。
- 給電端子部分は、気泡が残らないように強めに押しつけてください。



5) アンテナがフロントウィンドウに定着していることを確認しながら、アプリケーションフィルムをゆっくりはがす。

- アプリケーションフィルムと一緒にアンテナがはがれる場合は、アプリケーションフィルムを一度もとに戻し、アンテナ線を中心に強く押し定着させてから再度はがしてください。



6) アンテナを柔らかい布などで上から押さえつける。

- 上から丁寧に押さえつけてください。
- 給電端子部分には、直接手で触れないでください。皮脂などの汚れが付着すると給電端子部分が錆びて本来の性能が発揮できなくなります。

4 コードを配線する。

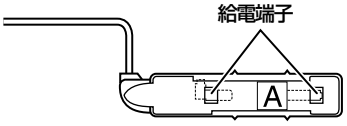
1) アンテナ貼り付け位置を目安に、アンテナコードを配線する。

- 実際に配線する前に、コード類を市販のセロハンテープなどで仮止めし、アンテナコードのアンプ給電端子の先端部がフィルムアンテナに届く位置にくるように調整してください。

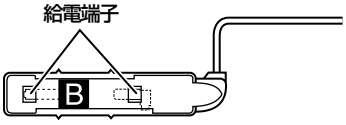
5 アンプをフィルムアンテナに取り付ける。

※モノポールフィルムアンテナは、アンプの裏面にA、Bと印されているアンテナコードを使用してください。
※モノポールフィルムアンテナAは必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されているAと、モノポールフィルムアンテナBは必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されているBと取り付けてください。A、Bを逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

<アンテナコード・アンプ部裏面>
(モノポールフィルムアンテナ用 A)

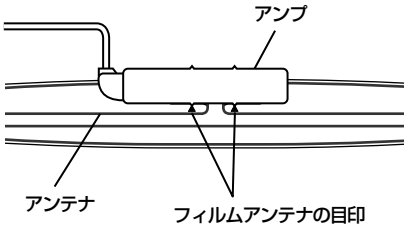


<アンテナコード・アンプ部裏面>
(モノポールフィルムアンテナ用 B)

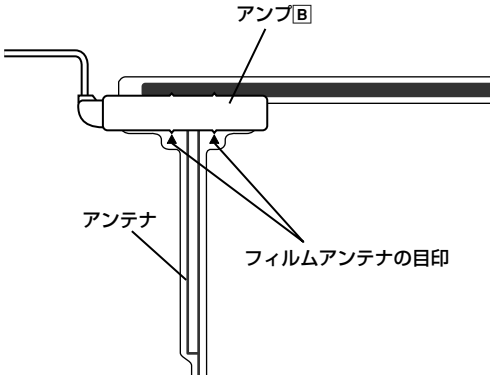


1） アンプ裏面（給電端子部）の保護シートをはがす。
2） アンプの給電端子突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付ける。

＜ループフィルムアンテナ(左側取付)の場合＞



＜モノポールフィルムアンテナ[B]の場合＞



Memo

● ループフィルムアンテナ用アンプとモノポールフィルム用アンプを逆に取り付けると感度が低下し、電波を受信できなくなるおそれがありますので、取り付ける際は必ず確認してください。

6 配線および内装部品（内張など）を元に戻す。

1） アンテナコードを本機背面へ接続する。（「フィルムアンテナ接続図」（18ページ）を参照ください。）
2） 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品（内張など）を元に戻す。

⚠注意

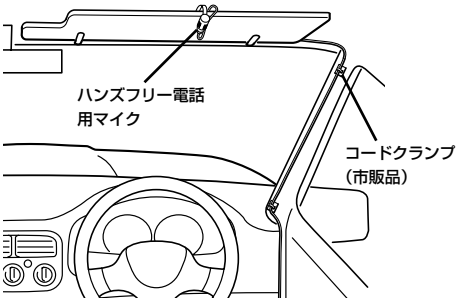
- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けてください（端子のズレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません）。
- 配線作業時は給電端子に負担を掛けないでください（給電端子をささえながらコードの配線を行ってください）。
- 引き回しに余ったアンテナコードは、他機器の近くには置かないでください。
  感度の劣化がおきる場合があります。

4. ハンズフリー電話用マイクを取り付ける

安全にお使いいただくために、次のような場所に取り付けてください。

- 安定しているしっかりした場所。
- 運転したときに視界や運転操作の妨げにならない場所。
- ハンズフリー電話用マイクは、ドライバーの声が拾いやすい場所（サンバイザーなど）に取り付けてください。発話するときに、姿勢がかわる様なことがあると、走行中の安全に支障をきたします。ドライバーの声が拾いやすい様に、マイクの向きや距離を考慮してから取り付けてください。

1 ハンズフリー電話用のマイクを取り付ける。



Memo

- サンバイザーなどにマイクを取り付ける時に、マイクのクリップ部に強い力を加えると破損する場合があります。注意して取り付けてください。

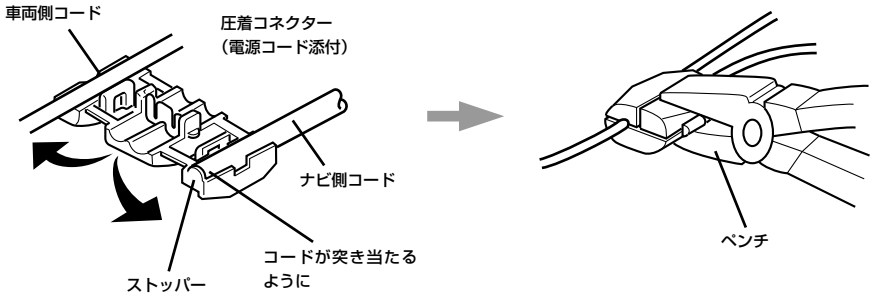
5. 接続する ・・・・・・ 接続するごとに OK に✓点をつけてください。

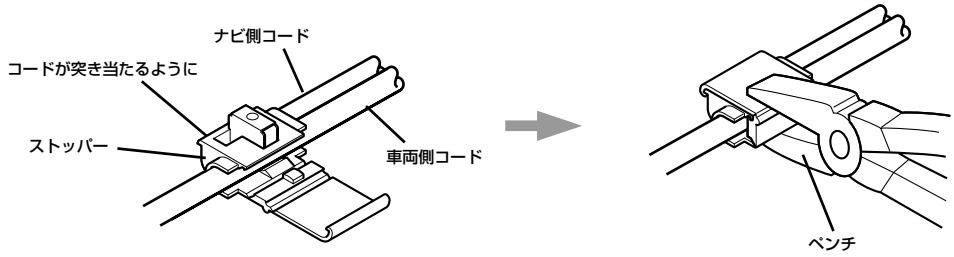
1 はじめに

- 接続は、車の電装系を理解できる知識が必要です。曖昧な理解で作業を進めると車体に重大な影響を与える場合がありますので、専門業者に依頼することをお勧めします。
- 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

2 車両ハーネスを確認する。

必要に応じて圧着コネクターを装着する。





3 接続する。

> **⚠注意** 正しい接続をする。
> 正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

■ スイッチの切りかえについて

本機の取り付け前に必ずスイッチの切りかえを行ってください。

切りかえは次の手順で行ってください。

1 電源コードを抜く。

2 棒状のものをスイッチに対して垂直に挿入する。

3 指定のポジションに切りかえる。

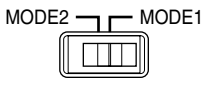
4 電源コードを接続する。

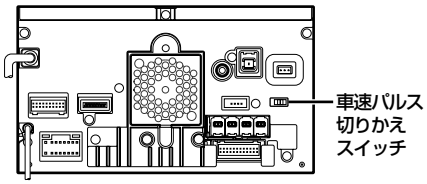
車速パルス切りかえスイッチ(本機背面部)

多パルス車※に取り付けるときは、「MODE2」に設定してください。

MODE1(出荷時)

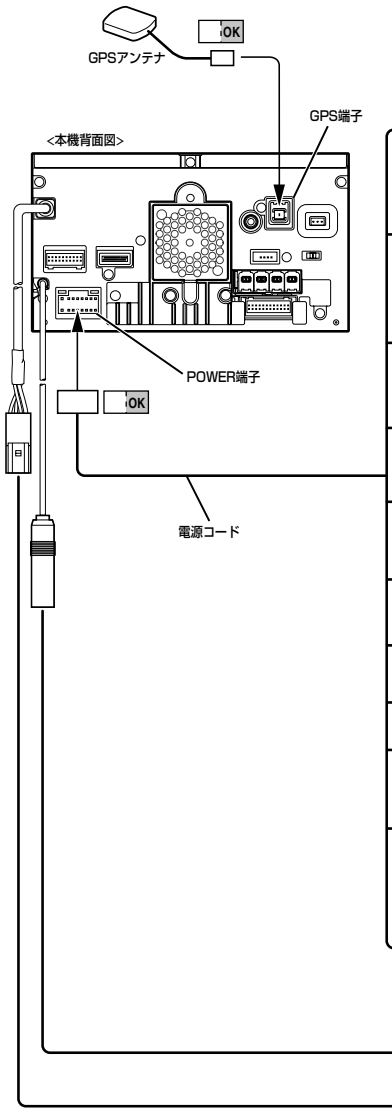
MODE2





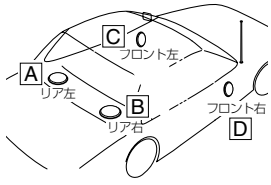
※ 多パルス車：車速パルスを60パルス以上発生する車。

● 基本接続図

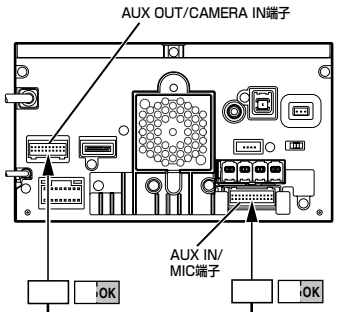


コード色	コード仕様	接続先
黄／青	OK ・パーキングブレーキコード（PARKING BRAKE） パーキング、ブレーキの状態を本機に伝えます。	パーキングブレーキの状態を本機に伝えるため、パーキングブレーキスイッチの電源側に必ず接続してください。不明な点はお買い上げ店にご相談ください。
橙／白	OK ・リバースーコード（REVERSE）	車のバック時に自車位置精度を向上させるために、車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。レバーのバック（R）に連動して、自車マークがバックするようになります。バックカメラ接続時には、シフトレバーのバック（R）に連動して、バックカメラの映像に自動的に切りかえます。
緑	OK ・スピーカーコード（リア左）（R.L CH） リア左スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものを使用してください。	リア左のスピーカーに接続 A
緑／黒	OK	
紫	OK ・スピーカーコード（リア右）（R.R CH） リア右スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものを使用してください。	リア右のスピーカーに接続 B
紫／黒	OK	
白	OK ・スピーカーコード（フロント左）（F.L CH） フロント左スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものを使用してください。	フロント左のスピーカーに接続 C
白／黒	OK	
灰	OK ・スピーカーコード（フロント右）（F.R CH） フロント右スピーカーを駆動する信号を出力します。 接続するスピーカーは、インピーダンスが3.2～8Ωのものを使用してください。	フロント右のスピーカーに接続 D
灰／黒	OK	
青／白	OK ・リモートオンコード（AMP REMO） 本機の電源ON/OFFとアンプなどの周辺機器のON/OFFを連動させます。	アンプなど追加の際に使用
黒	OK ・アースコード 車体の金属部分へしっかりと固定します。	車のボディーの金属部分に確実に接続してください。不十分ですと雑音や誤動作の原因になります。
赤	OK ・ACC電源コード（ACC） エンジンキーに連動した電源を本機に供給します。	ACCポジションで電源が供給されるコードに接続
黄	OK ・バッテリー電源コード エンジンキーに関係なく常に電源を本機に供給します。通常、バッテリーコードの接続で十分ですが、さらに良い音で楽しみたいときは、直接車側のバッテリーに配線すると良いでしょう。 詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。	常に電源が供給される（バッテリー電源プラス）コードに接続
青	OK ・パワーアンテナ／ブースターコード（P. ANT） エンジンキーのACC ON/OFFに連動してパワーアンテナを伸縮させる信号を出力します。 また、ウインドウシールドアンテナなどブースターが付いている車輌はブースター電源として使うことができます。（ブースターが付いているものは必ず接続してください。接続を忘れるとラジオの受信状態が極端に悪くなります。）	車のパワーアンテナコードまたはアンテナブースターに接続
	OK ・アンテナソケット（VICS/ラジオ共用） アンテナからの信号を受け取るコードです。	車のアンテナプラグに接続
	OK ・BEACON入力コネクター 別売のビーコンユニット（HCE-T062）とシステムアップするときに使用します。	別売ビーコンユニット（HCE-T062）と接続

ヒューズ（15A）

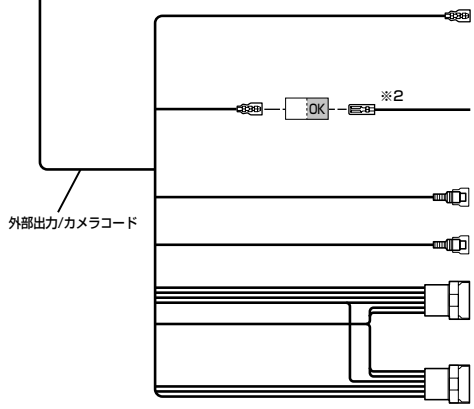


プリアウト/外部入力コード ➡ 17ページ
外部出力/カメラコード ➡ 17ページ
フィルムアンテナの接続 ➡ 18ページ
ETCユニット、ビーコン(VICS)、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクの接続 ➡ 19ページ



コード色		コード仕様	接続先
黒	OK	・センタースピーカー出力端子(CENTER) センタースピーカー用信号を出力します。	センタースピーカー追加の際、センタースピーカー用アンプに接続
黒	OK	・サブウーファー出力端子(SUBW.) サブウーファー用信号を出力します。	サブウーファー追加の際、サブウーファー用アンプ（ローパスフィルター内蔵アンプ）に接続
白	OK	・リアスピーカー出力端子(REAR OUT) リアスピーカー用信号を出力/入力します。	リアスピーカー追加の際、リアスピーカー用アンプに接続
赤	OK		
白	OK	・フロントスピーカー出力端子(FRONT OUT) フロントスピーカー用信号を出力/入力します。	フロントスピーカー追加の際、フロントスピーカー用アンプに接続
赤	OK		
赤	OK	・外部入力端子(AUX INPUT) 映像/音声を入力します。	組み合わせる製品の外部出力に接続
白	OK		
黄	OK		
黒	OK	・マイク入力コード（MIC IN）※1 ハンズフリー電話を使用する場合に接続します。	ハンズフリー電話用マイクと接続
橙	OK	・ステアリングリモコンコード（STEERING REMOTE）※1 車のステアリングリモコンで操作するときに使用します。	別売のリモートコントロール・インターフェース・ボックスと接続
茶	OK	・リモート入力コード（REMOTE IN） リモコン信号を入力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品のリモート出力コードに接続。
茶	OK	・リモート出力コード（REMOTE OUT） リモコン信号を出力するためのコードです。	組み合わせるALPINE製品のリモート入力コードに接続。
桃	OK	・モニターコントロールコード（MONITOR CONT.） タッチパネル対応モニターと接続する場合に使用します。	組み合わせるALPINE製品タッチパネル対応モニターのモニターコントロールコードに接続。

※1 マイク入力コードとステアリングリモコンコードは同じ形状のため、色に注意して間違いのないように接続してください。



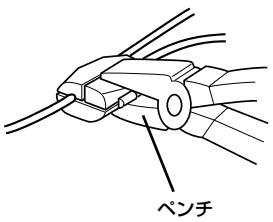
コード色		コード仕様	接続先
橙	OK	・イルミネーションコード（ILLM） スモールランプなどのライトに連動して照光スイッチの明暗切りかえを行います。	車のスモールライトコードに接続
緑/白	OK	・スピードセンサーコード（SPEED SENSOR） 走行距離を計測するために車速パルスを利用します。 ※2 スピードセンサー延長コードは必要に応じてご使用ください。	車速パルスコードは車種／年式によって違い、間違った接続は車に重大な影響(ブレーキが効かなくなるなど）を与えますので、販売店に問い合わせ確実に接続してください。（販売店での接続をお勧めします。） 車速信号がとれない車は、別売の車速パルス発正器(NVE-K300)をご使用ください。
黄	OK	・ビデオ出力端子(AUX OUTPUT) 映像を出力します。	組み合わせる製品のビデオ入力に接続。
黄	OK	・カメラ用ビデオ入力端子(CAMERA IN) 映像を入力します。	リアカメラ/ルームカメラ/サイドカメラのビデオ出力に接続。
	OK	・フロントカメラ接続端子（FRONT CAMERA） フロントカメラ（HCE-C200FDシリーズ）/TOPVIEWマルチカメラ（HCE-C500シリーズ）と接続する場合に使用します。	HCE-C200FD/HCE-C500シリーズのカメラに接続。
	OK	・リアカメラ接続端子（REAR CAMERA） リアカメラ（HCE-C200R/HCE-C107D/HCE-C90Dシリーズ）/TOPVIEWマルチカメラ（HCE-C500シリーズ）と接続する場合に使用します。	HCE-C200R/HCE-C107D/HCE-C90D/HCE-C500シリーズのカメラに接続。

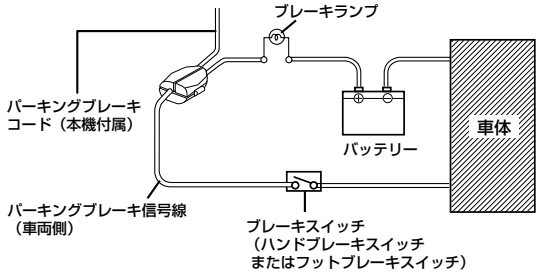
パーキングブレーキコードを接続する。

車両側のパーキングブレーキ信号線に、パーキングブレーキコードを圧着コネクターを使用して接続する。

パーキングブレーキコードは、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続する。

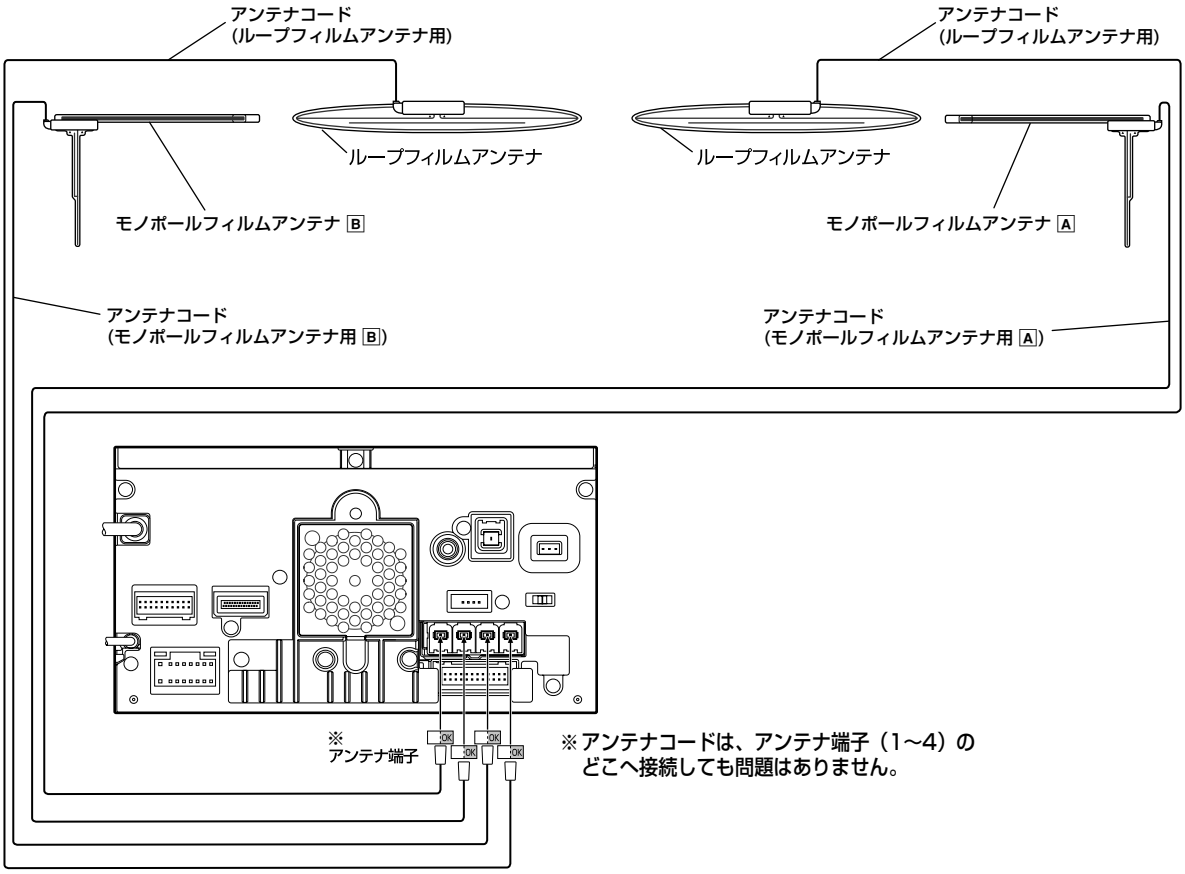
パーキングブレーキコードは、必ず接続してください。





パーキング線が無い車の場合など不明点は、お買い上げ店にお問い合わせください。

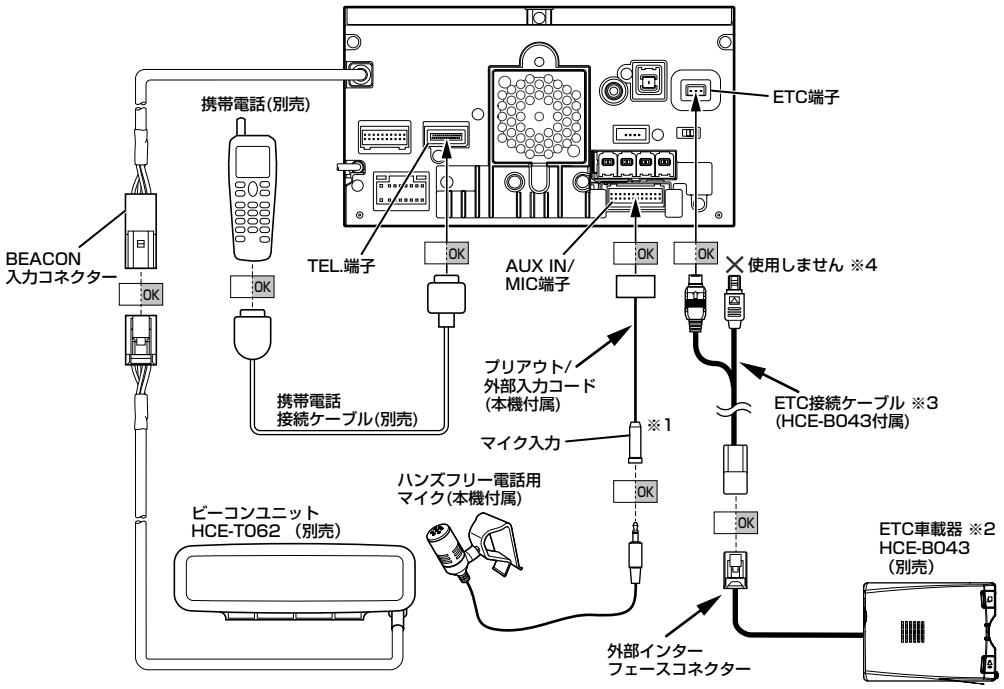
● フィルムアンテナ接続図



Memo

● モノポールフィルムアンテナ**A**は必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されている**A**と、モノポールフィルムアンテナ**B**は必ずアンテナコードのアンプ裏面に印されている**B**と取り付けてください。**A**、**B**を逆に取り付けると、受信性能の劣化につながります。

● ビーコン(VICS)、ETCユニット、携帯電話、ハンズフリー電話用マイクを接続する



※1 マイクはマイク入力コードに確実に接続してください。
　ステアリングリモコンコードや、別売のKCU-450iVのピンジャックに接続しても使用できません。
※2 HCE-B033を接続する場合は、専用の別売ETC接続ケーブル・KWE-103Nを使用してください。
※3 本機のETC端子と、ETC TYPE-A（赤色チューブ）の端子を接続してください。
※4 ハーネス固定テープで留めてください。

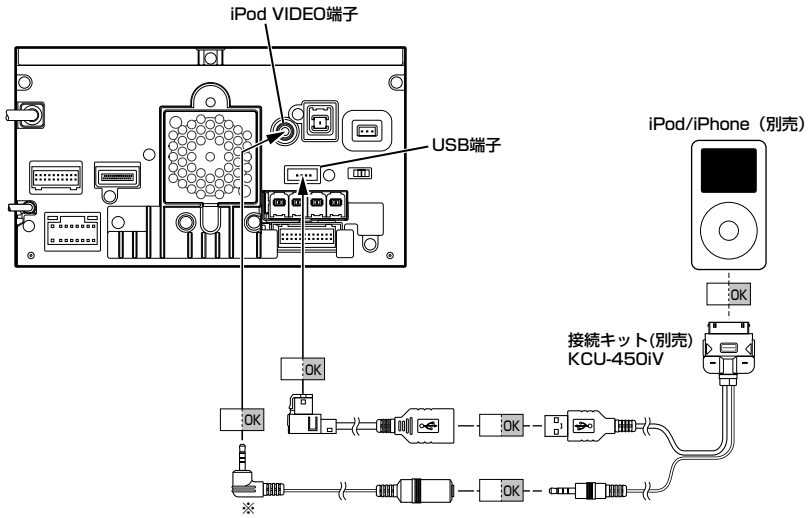
Memo

● 携帯電話の方式によって、使用する携帯電話接続ケーブル(別売)が異なります。

方式	接続ケーブル
cdmaOne/CDMA 1x	HCE-B014
CDMA 1x WIN	HCE-B015
FOMA	HCE-B016
PDC	HCE-B017

● BLUETOOTH対応携帯電話と接続する場合は、携帯電話接続ケーブルは不要です。
● 携帯電話を本機に接続しても充電されません。十分に充電した携帯電話をご使用ください。
● 接続可能な携帯電話の機種については、弊社カタログ、ホームページ <http://www.alpine.co.jp>、もしくはインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
● 別売ビーコンユニット・HCE-T062をご使用ください。
● 別売ETCユニット・HCE-B033/HCE-B043をご使用ください。HCE-B033を接続するには、専用の別売ETC接続ケーブル(KWE-103N)が必要です。
● 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● iPod/iPhoneを接続する

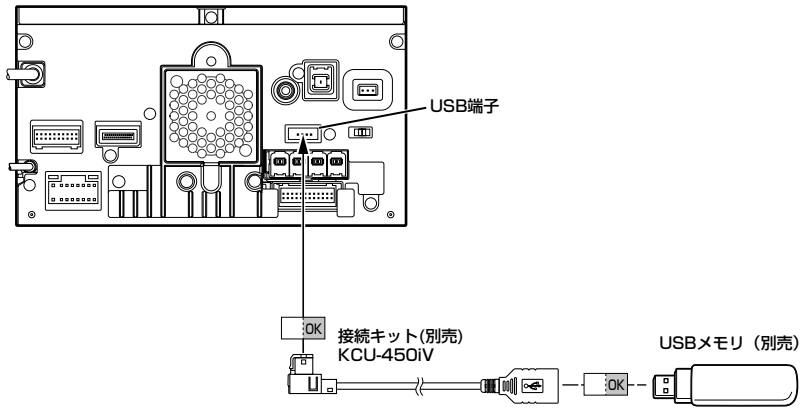


※マイク入力コードやステアリングリモコンコードに接続しても使用できませんので、
注意して接続してください。

Memo

- iPod/iPhoneの接続には別売接続キット KCU-450iVが必要です。
- iPod/iPhoneとUSBメモリを同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、iPod/iPhoneを車の中に置いたままにしないでください。

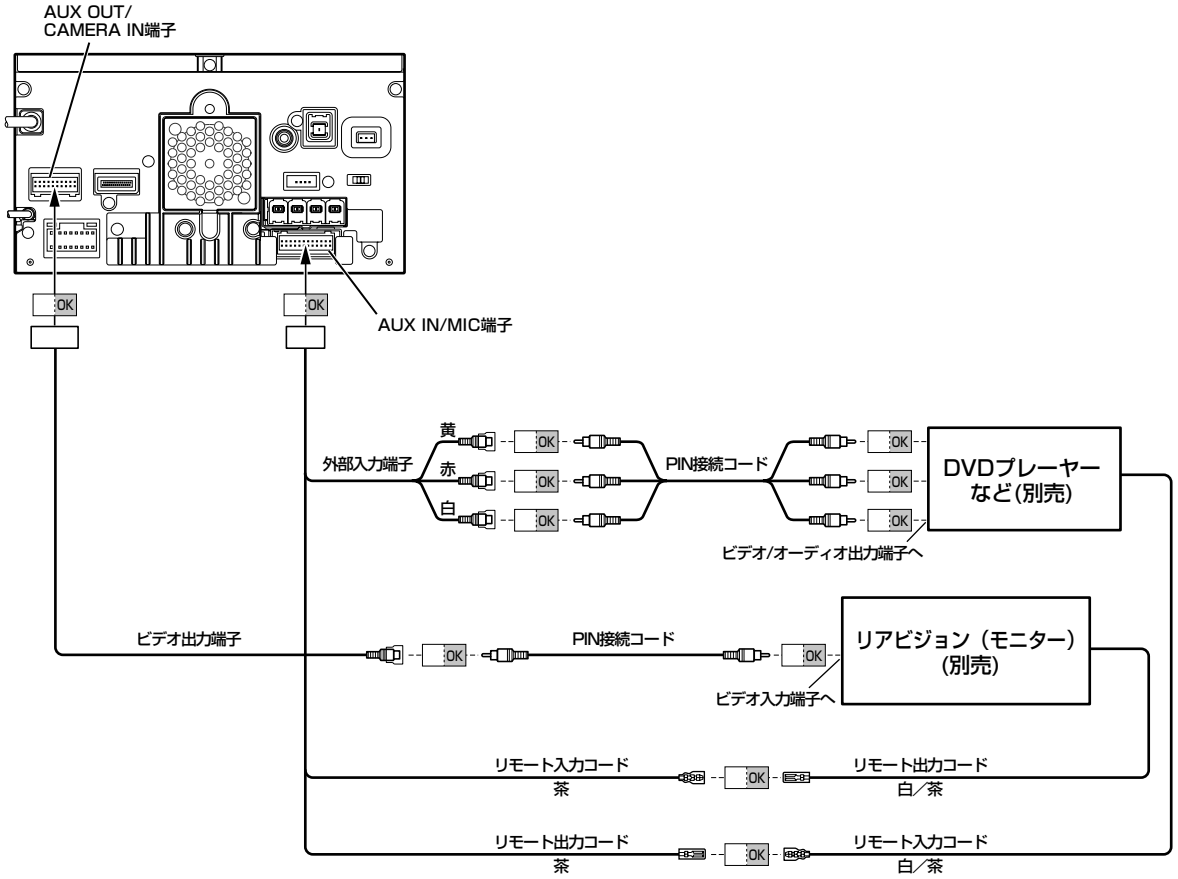
● USBメモリを接続する



Memo

- USBメモリの接続には別売接続キット KCU-450iVの中のUSBケーブルが必要です。
- USBメモリとiPod/iPhoneを同時に接続することはできません。
- 駐車した車の中の温度は推奨利用温度の範囲を超えることがありますので、USBメモリを車の中に置いたままにしないでください。
- USBメモリはメニュー画面かAVソースメニュー画面で USB解除 にタッチした後か、本機の電源がOFFになっている時に取り外してください。
  本機の電源ON中に USB解除 にタッチせずに外すと、USBメモリが破損する場合があります。

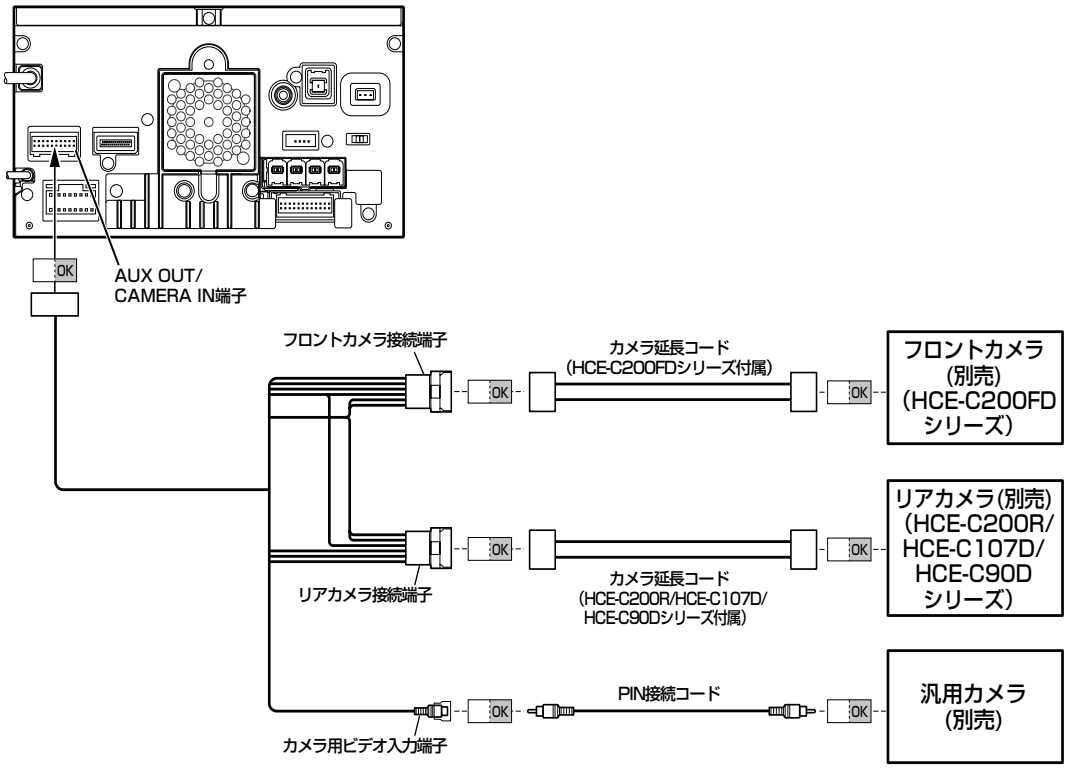
● リアビジョン(リアモニター)、外部入力(DVDプレーヤーなど)を接続する



Memo

- 外部入力の名称を設定することができます。
  取扱説明書「設定･編集」−「各種設定」−「外部機器を接続する」を参照してください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

● フロントカメラ、リアカメラ、汎用カメラ(ルームカメラ/サイドカメラ)を接続する



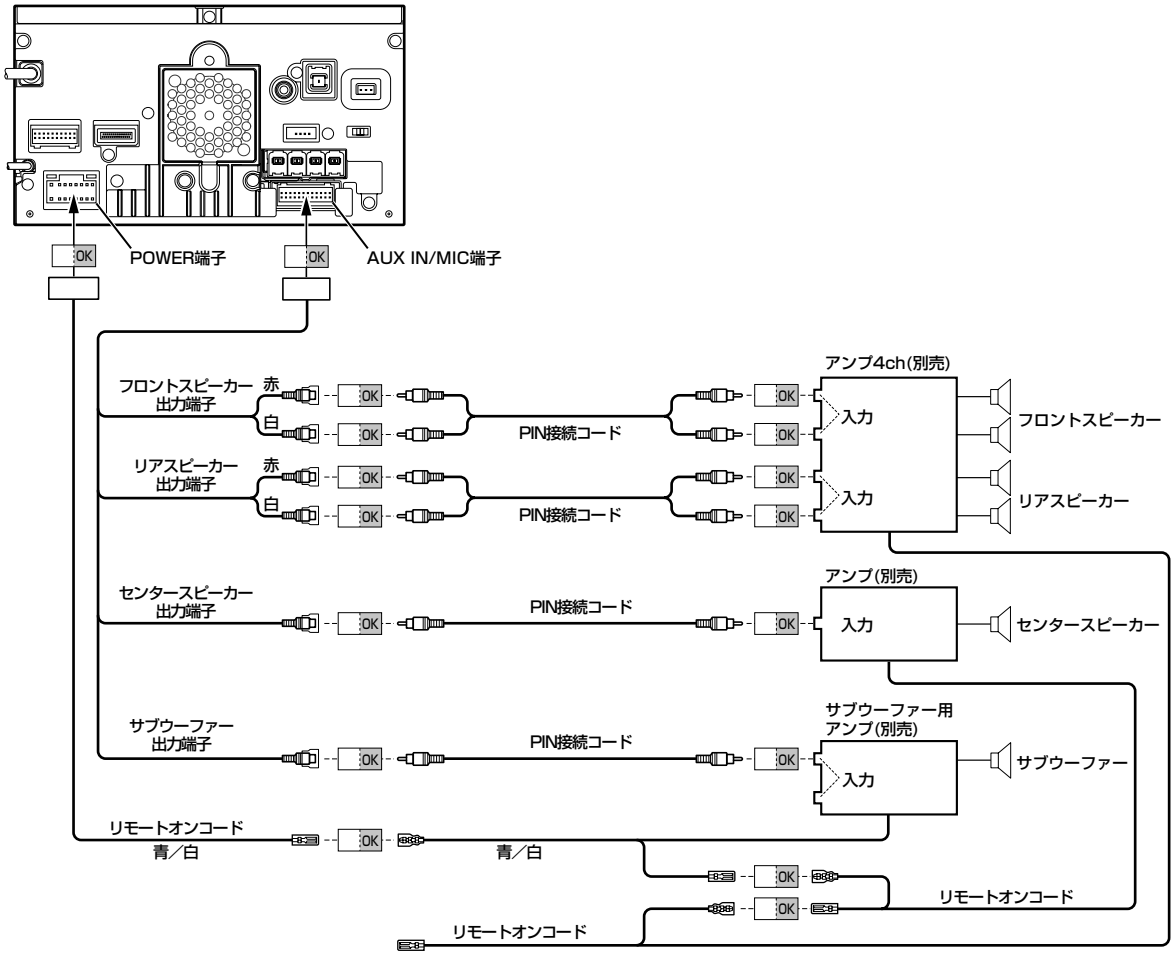
Memo

- リアカメラを、リアカメラ接続端子とカメラ用ビデオ入力端子に同時接続することはできません。
- TOPVIEWマルチカメラ接続に関しては、HCE-C500シリーズの取付説明書をご覧ください。
- TOPVIEWマルチカメラ接続時は、他のリアカメラ/フロントカメラを接続することはできません。
- 汎用カメラの名称を設定することができます。取扱説明書「汎用カメラを接続する」を参照してください。
- フロントカメラ接続時にスピードセンサーコードが接続されていないと、フロントカメラ速度連動表示を行うことができません(取扱説明書「設定・編集」−「各種設定」−「自動的にフロントカメラ映像を表示する(速度連動)」参照)。
  またリアカメラ接続時にリバースコードが接続されていないと、シフトレバーをバックギア(R)に切りかえてもリアカメラ画面に切りかわりません。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

重要

- **汎用RCA入力カメラ接続時に、ドライブインフォメーション画面でリアカメラ映像を表示させるには、バックカメラのリバース線(橙/白)を本機など製品側のACC電源コードか、車両側のACC電源コードに接続してください。**
  本機のリバースコード(橙/白)はお車のバックランプ信号線のプラス側に接続します。

● 外部アンプを接続する(5.1ch使用時)



Memo

- 取扱説明書「設定･編集」−「音質調整」−「スピーカーを設定する」を参照してください。
- 詳しい接続に関しては、接続する製品の取付説明書も合わせてご覧ください。

6. ナビゲーション本体を取り付ける

ナビゲーション本体取り付け上のご注意

- HDDは強磁界に弱い為、データが消去される場合があります。ナビゲーション本体をスピーカーまたは磁力を持つ製品などからなるべく離して取り付けてください。
- 車内の温度が低い(0℃以下)場合ではHDDが正常に動作しない場合があります。常温になってからお使いください。
- HDDは精密な部品を用いて精密に組み立てられています。性能を維持するために、ナビゲーション本体に無理な力を加えたり、強い振動を与えないでください。

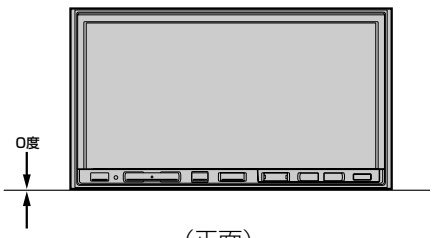
＜VIE-X088のお客様へ＞

VIE-X088の取り付けには、別売の車種専用取付キットが必要です。

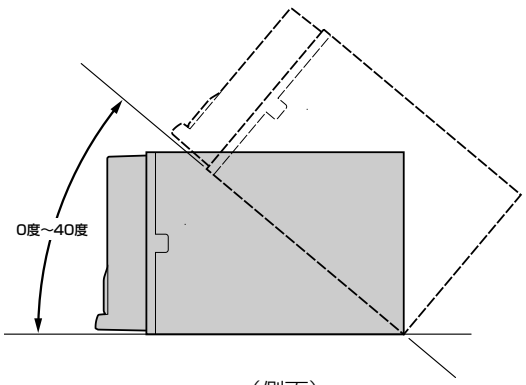
- 別売の車種専用取付キットを使用した取り付けについての詳細は、車種専用取付キットに付属の取付説明書を参照してください。
- 別売の車種専用取付キットについては、アルパインのホームページを参照してください。

＜ナビゲーション本体の取り付け角度＞

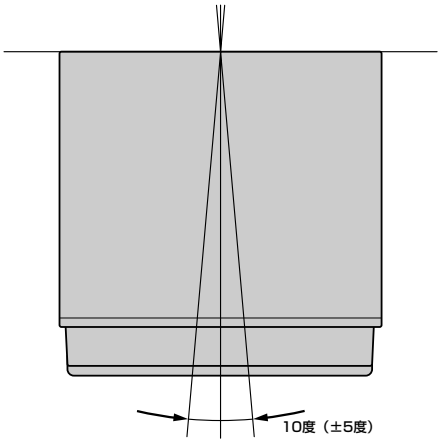
- 本機取り付け角度は、下記の角度の範囲内で、なるべく水平に取り付けてください。取り付け角度が大きいと現在地を正しく表示できなくなるほか、HDDの故障の原因となります。



（正面）



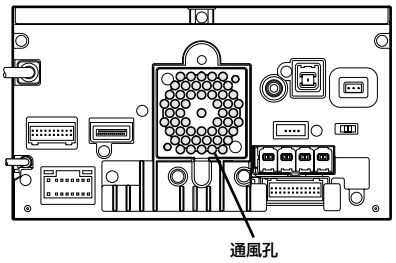
（側面）



（天面）

⚠注意

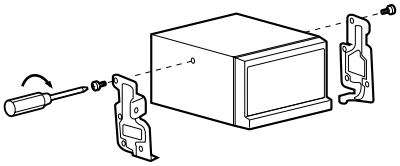
通風孔をふさがない。
通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災･故障の原因になります。



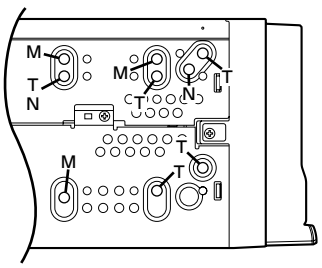
Memo
- 取り付けの際、通風孔の開口部にハーネス等を巻き込まないようにご注意ください。
- 通風孔に強い力を加えないように注意してください。破損の原因になります。

1 ディスクまたはSDメモリーカードの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。

2 ナビゲーション本体にブラケットを付属のバインドネジ(M5×8)でしっかり取り付ける。



取り付け用ネジ穴

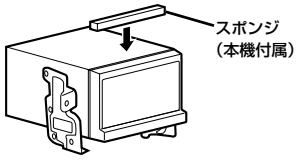


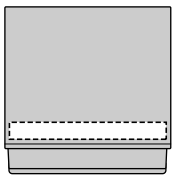
N 穴 → ニッサン車専用
T 穴 → トヨタ・ミツビシ車専用
M 穴→ マツダ車専用

3 「ブラケットと一体になったナビゲーション本体」を車両にしっかり取り付ける。

本機取り付けの際、必要に応じてスポンジをご使用ください。

- 車両側の取り付けスペースと本機上部の間に隙間ができる場合は、図を参考にして、付属のスポンジを取り付けてください。





点線枠を目安にして
スポンジを貼り付けてください。

4 パネル(インパネ)を取り付ける。

Memo

車両雑音から守るために

- アースコードを車体の金属部分に確実につなぐ。(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

7. 確認する

1 コード類を固定する。

シートレールなどの可動部などに挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

2 バッテリーマイナス端子を接続する。

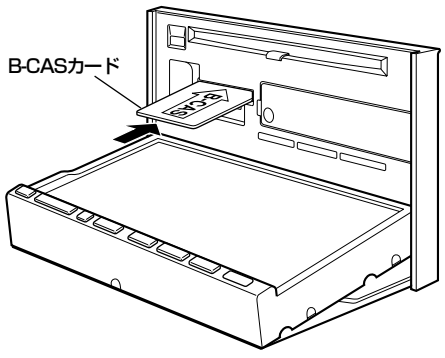
3 イグニッションキーをONにして、取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

8. B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する

本機で地上デジタルテレビを見るには、B-CAS カードを挿入する必要があります。

1 B-CAS カードの矢印が印刷されている面を上にして本体に挿入します。



Memo

- 手ごたえがあるまで確実に挿入してください。
- 通常、B-CAS カードを取り出す必要はありません。B-CASカードのテストが終了したら(28ページ参照)、B-CASカード破損などの場合以外は取り出さないでください。
- B-CASカードについて詳しくは、取扱説明書「地上デジタルテレビ」−「B-CAS(ビーキャス)カードを挿入する」を参照してください。

9. 接続状態を知る

取り付けが終わったら、配線が正しく接続されたか確認をしてください。
本体の電源を入れて、GPSアンテナ、電源コード、周辺機器の接続状況を画面表示で確認することができます。
また、本機の動きがおかしいときにも見てください。接続しているのに、「未接続」と表示されたらコード類を確認しましょう。

---

1 メニュー スイッチを押します。

メニュー画面が表示されます。

---

2 情報 にタッチします。



情報画面が表示されます。

---

3 その他 タブにタッチします。

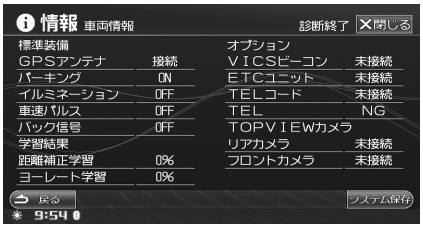


---

4 車両情報 にタッチします。



車両情報画面が表示されます。



5 戻る にタッチすると情報画面に戻ります。

Memo
- 車速パルスは、停車時など車速が入っていない時はOFFと表示されます。

10. B-CAS(ビーキャス) カードをテストする

B-CAS カードが正常に機能しているかテストすることができます。
まず、地上デジタルテレビの初期設定を行ってから、B-CASカードのテストを行ってください。

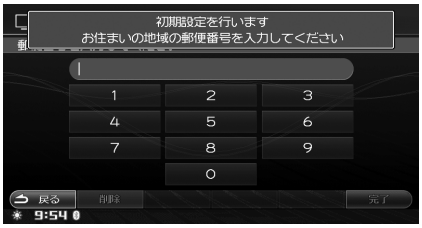
1 ソース/・POWER スイッチを押します。
AVソースメニュー画面が表示されます。

2 地上デジタルTV にタッチします。



地上デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、完了 にタッチします。



地域設定画面が表示されます。

4 お住まいの地域のタブにタッチして切りかえ、地域名にタッチします。



5 完了 にタッチします。

県域設定画面が表示されます。

6 お住まいの地域タブにタッチして切りかえ、県域にタッチします。



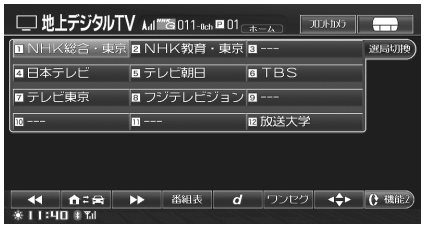
7 ホームスキャン にタッチします。

ホームモードスキャンが実行されます。
スキャンしたチャンネルはホームモード(お住まいの地域のモード)のプリセット番号に自動的に記憶されます。

続いてB-CASカードのテストを行います。

> **Memo**
> ● ホームモードスキャンはしばらく時間がかかります。スキャンが終了するまでしばらくお待ちください。

8 画面にタッチして操作スイッチを表示させ、設定 にタッチします。



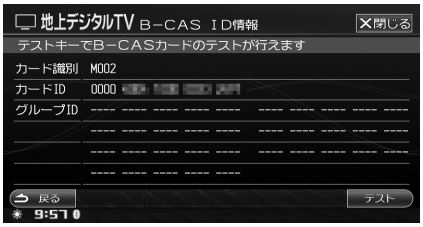
地上デジタルテレビ設定画面が表示されます。

- 上画面のタッチスイッチが表示されていない場合は、機能2 にタッチして操作スイッチを切りかえてください。

9 ▼ にタッチして画面を切りかえ、B-CAS ID情報表示 にタッチします。

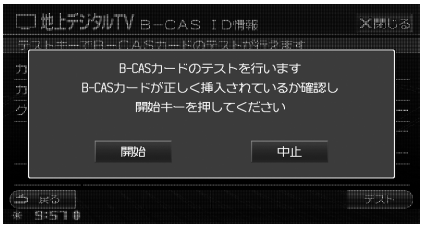


10 テスト にタッチします。



テスト開始の確認画面が表示されます。

11 開始 にタッチします。



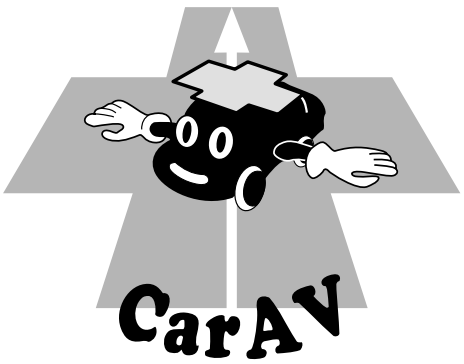
B-CAS カードのテストが開始されます。
テストが終了するとテスト完了のメッセージを約4 秒間表示し、B-CAS ID情報画面に戻ります。

Memo

- B-CASカードのテスト中は、B-CASカードを取り出したり、電源をOFFにしないでください。カードの破損や故障の原因になります。

メモ

正しい取り付け
正しい操作で
安全運転



- 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は国内専用です。

Wonderful Heart Network
カーエレメディアを優しく　お客様とのネットワーク

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
  ＜一般回線ご利用のお客様用＞
  TEL:0570-006636
  ※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
  ＜携帯電話、IP電話、光電話等をご利用のお客様用＞
  TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～12:00　13:00～17:30
  （土日、祝日、弊社休業日を除く）
- **電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。**
  FAX:048-662-6676
- ナビゲーションをお買い上げのお客様には、ユーザー登録をして頂くと、アルパインホームページ上からE-mailでのお問い合わせができます。どうぞご活用ください。
- アルパイン ホームページ　http://www.alpine.co.jp
  FAQ（よくあるご質問）　http://faq.alpine.co.jp
  アルパイン製品に関して、お客様からよくあるご質問と回答をご紹介しております。

市内通話料でOK
ナビダイヤル®

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (Y-711)
68-12150Z73-A